



デカパイサンタガ ドスケベ★プレゼント

「お隣さん、Hな声が漏れてたらゴメンなさい！」

クリスマスにしちゃった
秘密のファンサービス...
その一部だけを
こっそり見せるね!!

八宮めぐる

聖なる夜を性なる夜に
朝になるまで一晩中
ヤリまくり♡

八宮めぐる

デカパイサンタガールの
ドスケベ★プレゼント

「お隣さん、Hな声が漏れてたらゴメンなさい！」

DVD
VIDEO
180min.

¥2,980
[+税]



「くんばんはー……
あれ？寝てるの？」
「えり！ハダめぐる……ちゃん？
何でこんなおじさんの部屋に？
それに——」

「よかったー起きてた！
えへへ、すっごく大胆な恰好でしょ♡」



「今夜は寂しいクリスマスを送る
ファンの人を一人だけ選んで
めぐるサンタがプレゼントを
届けに来たの！」

「信じられない…それにつ
ぷ…プレゼントって
それって…ゴクニ」

「もー、どんなプレゼントを
期待してるの？
私はアイドルなんだよ？」



「それに、想像してるような
プレゼントだったとして
おじさんは体力がもつかなー
って思っちゃうけど……」
「た、体力って……
その姿を写真撮らせて
くれたりじゃ？」

「……そんなプレゼントでいいの？
違うよね？おじさんが欲しいプレゼントは
もっと……エッチなことだよな？」



「ほら見てっ、こゝ外せるんだよ！

おじさんはこれから一晩中

私にオッパイが揺れまくるのを

身近で鑑賞できちゃうの♡」

「うおっ、すっげえ乳首が…ッ

これは夢か？夢なら

覚めないでくれ！」

「そうそう、これは夢だよー？

倍以上も年の離れた人気アイドルと

何度も気持ちいいことしちゃう夢♡」



「わぁ♡中年のおじさんなのに

すっごい元気♡

血管浮いて…おっきいね♡

おじさんの…オ・チ・ン・ポ♡」

「く〜あめぐるちゃんが

俺のをじっくり見て

チンポって言うの

興奮する」

「興奮しすぎ！もう……オチンポ跳ねて

中年勃起チンポ♡ビンビンのブツいチンポ♡

大人しくしてくれないとゴム付けられないよっ」



「はい、装着完了！」

そうそう、おじさんは動いたり

触ったりしちゃだめだからね？」

「うん、うんうん！」

何でもいいから早く……ッ

早くエッチしよう！

最高のクリスマスだ」

「気が早いなあ……最高になるかは

おじさん次第だからね？」

だって今から私は——」



「おじさんを何度も

ズチ犯すんだからね♡」

「うっ…うおおお！

知らなかったためぐるちゃんが

こんなにエッチな子

だなんて！最っ高！」

「そうだよー♡

そしてキモデブで汗臭い中年おじさんって
嫌いじゃない♡……期待、してるからね？」



これで絶倫だったら最高に
素敵なんだけどなー♡」

現役アイドルと

ハメた！

「感激のあまり聞こえてないのかな？」

ねえおじさん。用意してるコンドームは
5つなんだけど――」

「五回ちゃんと私を満足させて

それでもまだオチンポが

やる気満々だったら……♡

生♡ハ♡ハ♡メ♡ハ♡ハ♡メ♡

……してもいいよ?」

「……!おおお!

絶対する!」

「あ、聞こえてた♡わあ、鼻息荒すぎ♡

うんうん、それじゃ頑張ってね?

……いっくよー……!」



「このオチンポ…すっぴん♡
気持ちいいところ当たるよぉ♡
おじさんはどうかな？
あはは、いやらしい顔
してるー♡」
「おお♡夢にまで見た
めぐるちゃんのお穴！
マニマニ！」

「夢にまで見てたんだ？
私を応援しつついやらしい妄想してたの？
それならいっぱいサービス、しなきゃね♡」



「弾むオッパイも見て？」

さて問題です…

私の胸のサイズはいくつ

でしょうかー？」

「た…たしか…九十センチ！

きつとFカップ！

……どうツ？」

「確かに公式では九十だけど…♡

ぶぶーハズレだよ。

実は私のオッパイサイズは——」



「百センチのーカップだよー♡
ファンの中でもおじさんだけの
秘密だからね？」

「ひゃ……百！ーッ！

くっそおお揉めてええ

お願い揉ませてよ

めぐるちゃん！」

「だーめ！無断でお触りしたら

このクリスマスイベントは即中止だよ？

アイドルと朝までめぽめぽ……したいよね♡」



「ん…ほら…タプタプオッパイ
見せつけられたまま
私のハメハメ穴に集中して?」
「こんなの生殺しだよお!
でもすごいスケベな腰つき!
こんなの17歳がする
腰振りじゃない!」

「幻滅した?ゴメンね……私ね……」

本当はエッチな女の子でチンポ好きなの♡
特に性欲持て余してる中年チンポ大好き♡」

♡お♡

♡お♡

♡お♡

♡お♡



「……はあい♡一発目終了ー！
うわぁ♪おじさんの精液
ズッシリ重たいねー♡でも…
これで終わりじゃないよね？」
「当たり前だよ！
まだビーンビーン♡で
ガチ勃起さー！」

「おじさん、すっごい♡
これ本当に期待できるかも……
おじさん、一緒に頑張ろうね！」







「はぁ♡はぁ♡五回目お疲れ様♡
ゴムハメハメ♡はこれで終了…
…本当におじさん最高…♡
私も何回も本気でイカされ
ちゃった♪」
「めぐるちゃん…約束
覚えてるよね？」
「…生で」

「♡♡うん♡もちろんいいよ♪
ゴム無しで本気のズッポズッポセックス♡
…じゃあサントさん役はこれで終了！」



「ここからは、私は……」

一晚だけおじさんの彼女で

おじさんが復活できなくなるまで

何度も何度もうづうづセックス

しちゃうからねー♡」

「め、めぐるちゃんが……！」

一晚でもいい！

はあはあ」

「ふふ♡目が血走ってて怖いよ♡

絶対この一晚だけで孕ませてやるーって……

自分だけの八宮めぐるにしてやるって顔♪」



「じゃあ……生エッチ

しっかり味わって……ん♡」

「デカパイすっげ……

触りたい……顔埋めたい……

このドスケベボディ絶対に

他のファンに渡して

たまるかよぉ！」

「まだまだ許可なく触っちゃだーめ！

その代わりいっぱい腰振って

パンパン♡ってお尻ぶつけてあげるから♪」



「公式だと八十九センチだけど
ホントは九十越えちゃってる♡
大き目なお尻…。こうして
激しく上下に…♡エッチに♡」
「お尻も詐称してたんだっ
デカケツ最高おお！
絶対尻肉掴んで交尾
…するッ」

「四つん這いにして後ろから？
動物さんみたいに？声上げさせて？
…私を牝にしたいほど好きなんだね♡」



今は彼女なんだから……いいよ♡
うづうづなヤツ、しよ♡」

する！するぞ！

めぐろちゃんとキス！

早く、早く……んん！

…んゝ！

「あはは♪タコみたいに口突き出して

普通の女の子じゃ絶対に嫌がる顔だねー……

「……私は嫌いじゃないけど……ん」

「もっとしよっ♡」

おじさんも舌出してっ

んっ、おじさんの口臭いよお♪

癖になる…これずっとキス

したくなる♡」

「めぐるちゃん…

エロすぎっ♡♡ふー♡

ふー♡」

「キスしてたら、私の方が

我慢できなくなっちゃった♡

本気で…動く、ね♡」



好き好き♡キモデブおじさん大好き♡」





「おてるう…アイドルなのに
こんなおじさんと生ハメして
無責任中だしされて
気持ち…いい♡」
「孕め…孕め…孕め孕め
…孕めよお！めぐる！
中年精子で孕めっ」

「呪文みたいに『孕め』って繰り返して♡
そんなに私を独占して自分だけの
オチンポオンナにしたいんだ…♡」



「…私の中でまだ勃起したまま…

おじさん♡あとで私と連絡先を

ないしよで交換してくれる？

これからも…よかったら♡」

「そ…それって……っ

する！交換する！

そして、これからも

♡♡♡」

「もう、連絡先の交換だけだよー♡

これからもドスケベな関係でさるかは

朝まで休まずエッチできたらね♡♡♡」



「…私の中でまだ勃起したまま…

おじさん♡あとで私と連絡先を

ないしよで交換してくれる？

これからも…よかったら♡」

「そ…それって……っ

する！交換する！

そして、これからも

♡♡♡」

「もう、連絡先の交換だけだよー♡

これからもドスケベな関係でさるかは

朝まで休まずエッチできたらね♡♡♡」





「頑張ったねっ！」

本当に朝になるまでとか
予想以上の絶倫っぷり♡

…だったけど—」

「……っ

……あ……あ……」

「さすがに皆さんも
おじさんチンポもお疲れさま
みたいだね♡」



ぬま♡

「これからもファニーとして
エッチで秘密の関係として
八宮めぐるをよろしくね？
おじさん♡」



んっ...

んっ...